



▶輝H-I-K-A-R-Iみぬまの外観と、スタッフのメンバー。お子様に寄り添った支援を心がけています。



▶粗大運動効果と体のバランスなどを整えるため、また木の温もりを感じられるように、壁面にボルダリングを設置。通所児童も喜んで挑戦しています。



平成28年1月4日に、当団体が運営する放課後等デイサービスの4件目の施設となる「輝H-I-K-A-R-Iみぬま」がさいたま市見沼区大和田町に開所しました。

施設管理者は、輝H-I-K-A-R-Iさいたまの児童発達支援管理責任者として支援に取り組んでいた、加藤裕子が管理者兼児童発達支援管理責任者を担当。

同施設は、東武アーバンパークライン大和田駅から徒歩2分のところにあります。が、閑静な場所です。子どもたちも伸び伸びと過ごせる環境を整えております。

普通級や支援学級からの通所が多く、児童をお預かりする時は学校の宿題を静かに取り組めるように、学習室を設置。

「静と動」を区別することで、ボルダリングやトランポリンなどの全身運動ができる遊具も揃えています。また、ポーター社のカラフルギアなども壁面に配置して、知育玩具なども多く取りそろえており、児童の成長に併せた「遊び」と「学び」を工夫しています。

おやじりんく4件目の放課後等デイサービス  
「輝H-I-K-A-R-Iみぬま」開所!

## 行政と共に考える、これからの障害者雇用



### ◆障がい者千人雇用の実践

平成28年3月12日は兵庫県伊丹市内において当団体が主催するイベント「行政と共に考える、これからの障害者雇用」を開催しました。基調講演としてご登壇頂いたのは、岡山県総社市市長の片岡聡一氏。

障がい者の人生を「ゆりかご」から「墓場」まで一環して、安心して暮らせる総社市の完成を目指し、障がい者の雇用を斡旋が無かったことに着目して直接市が斡旋できるようにと、市役所内にハローワークと共同して、障がい者千人雇用センターを設置。それを基に「障がい者千人雇用」を実践して、約5年前、当時180名しか雇用されていなかった障がい者を、現在は897名まで雇用を確保。障がい者千人雇用を実践する上での困難や、問題や課題など、取り組まれたことについてご講演頂きました。

今回、このイベントには日本各地から、12名の県・市議会議員にもご参加を頂きました。各地の市議会議員からも質問が出て障害者雇用について熱く前向きに語り合い、まさに行政と共に考えていく障害者雇用の意見交換会となりました。





## 横浜観光&横浜FC戦 サッカー観戦ツアー

平成28年5月22日は、おやじりんく主催の横浜みなとみらい観光&横浜FC戦サッカー観戦イベントを行いました。

これはJ2リーグ横浜FCさまの絶大なるご協力と支援により実現しました。

キツカケは、横浜FC法人営業部で担当の方から「知的(発達)障害のある子どもたち、そしてそのご家族にもサッカー観戦の楽しみや、横浜の観光などを楽しんで頂きたい」という思いに支えられ、観光バスをチャーターして頂きました。

16時からニッパツ三ツ沢競技場で開催された横浜FC対セレッソ大阪の試合を観戦、その後バスで送迎頂くという交通付きの観戦イベントでした。このイベントには、32名の方が参加されました。

試合結果は1対1のドローでしたが、とても楽しい試合でした。

終了後は、横浜FCマスコットの「フリ丸」と参加者全員で記念撮影。天候にも恵まれた、素晴らしいイベントを無事故で終えることが出来ました。



## 「輝HIKARII」スタッフ 合同研修会を開催

平成27年10月17日は、第二回放課後等デイサービス「輝HIKARII」スタッフ合同研修会を開催しました。この研修会には、当団体が運営する、放課後等デイサービス「輝HIKARII志木」「輝HIKARIIさいたま」「輝HIKARII上宗岡」のスタッフ計16名が参加。また一般参加者として、さいたま市議会議員、歯科医師、作業療法士、言語聴覚士、特別支援教育関連、障害のある子どもを抱える保護者など、計60名の方にもご参加頂きました。



今回の研修会の特別講師は、米國コミュニケーションセラピストのカニングハム久子先生。カニングハム久子先生には「発達障害による二次障害を最小限に食い止めるよう」という内容で、約80分間に涉り講演をして頂きました。講演内容は、症例として3症例を紹介。また発達障害児の思春期に見られる二次障害について、家庭で出来る二次障害予防策、そして二次障害が出たら、などの内容についてもお話し頂きました。それ以外にも栄養学や環境汚染等による身体への影響、米國での研究内容についても発表されていました。

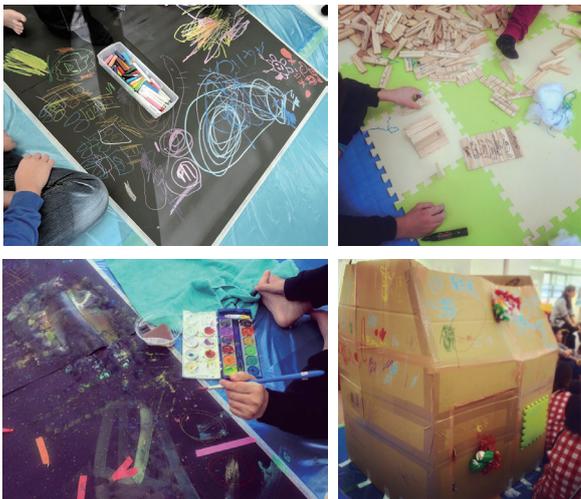
講演後は質問会を20分程度行いました。内容はIT端末などの年齢制限や、使用制限についての確認。または外遊びなどの重要性について、脳科学的見地から答えられていました。とても貴重な研修会となりました。

## アールブリュット 移動アトリエを開催

平成27年12月19日は、12月度文化芸術交流活動を開催しました。

厚生労働省の補助事業「平成27年度障害者の芸術活動支援モデル事業」を受託された社会福祉法人愛成会さまが開催する、補助事業の中の人材育成のプログラム「移動アトリエ」の団体交流として当団体が運営する「デイサービス「輝HIKARII志木・さいたま・上宗岡」の3施設の子童30名が参加しました。

移動アトリエのテーマは「フリーダム」。自由な発想で好きなように子どもたちに表現をしてもらいました。床面に紙を貼り、サインペン・絵の具・色鉛筆などで楽しく自分の絵を描きました。またダンボールハウスを制作、その壁面にも装飾しました。絵の苦手な子には、粘土も用意。また2000個の木積み木を用意して、自由に組み立てたりして立体的な表現などもしていました。最後は自分の創った作品をみんなで発表しました。とても賑やかで楽しい「移動アトリエ」となりました。



1日だけの障がい者就労事業によるとっておきの市場

## キラリ☆マルシェ

平成28年2月20日は福岡県久留米市内で開催された、一般社団法人アカルカ福祉協会が主催の「キラリ☆マルシェ」に参加しました。キラリ☆マルシェは久留米市内の障がい者就労事業所約20団体が一同に介して『1日だけの障がい者就労事業によるとっておきの市場』として販促会を開催。このイベントの基調講演として、当団体代表理事の金子と岡山県総社市市長片岡聡一氏とリレー講演で、岡山県総社市にて取り組まれている「障がい者千人雇用」について報告しました。



▲講演をする片岡市長(左)と当団体代表理事の金子(右)